

# 文化ウイーク

外国语学部 国際文化交流学科 3年 植松美帆

私が学科祭の役員として3年目の今年は去年より良い物が作れたのではないかと思います。今年度は昨年に引き続き2回目になる言語の祭典が10月26日に行われ、翌月の11月9日には文化ウイークが行われました。

言語の祭典では、英語と中国語が加わり合わせて8カ国語の言語で各々個性豊かな発表をしてくださいました。昨年初めての試みとして行われた言語の祭典では何もかもが初めてだったため、役員一同が右往左往してしまった事を反省し今年は、ルールの見直しや当日の役割分担等をしっかりと決める等と多くの事を改善しました。また、各言語の発表者の方々も昨年度よりも試行錯誤して下さり、発音や内容の向上はもちろんですが仲間との協力とそれまでの努力を感じる事の出来る発表となっていました。

11月の文化ウイークでは、アフリカ開発会議が昨年行われた事もあり、アフリカをテーマにした



カフェとファッショントリオを行いました。私は主にファッショントリオを担当しました。カフェにおいては、お越し頂いた学生や教員の方、地域の皆様に神奈川大学のシフォンというカフェのお菓子やサンドイッチを提供し喜んで頂くことが出来ました。また内装等にもアフリカのティストを盛り込む工夫をし、居心地の良い空間を提供する事が出来ました。



ファッショントリートショーにおいても、アフリカというテーマに基づきバルーンやライト等を使って私達の考えるアフリカの雰囲気を最大限作り出す努力をしました。内装作りの最中も文化ウィークの仲間と活発に意見を交わしあう事ができ、結果として予想以上の物に仕上げることが出来たと思います。

ファッショントリートショーも今年で二度目という事もあり、去年の反省を踏まえて行動できたのでスマートに作業を進めることが出来ました。当日も国際文化交流学科の学生がアフリカを中心としたエジプトやトルコやインド等の世界の民族衣装を着てモデルとしてランウェイに見立てた赤いカーペットの上を歩いてもらいました。去年に引き続き大変好評をいただく事が出来たのは、ファッショントリートショーを一緒に作りあげた学科祭の仲間の協力があつてこそのです。

来年は今年の反省点を活かしより良い物を作り上げ、多くの方に国際文化交流学科の活動を知つていただきのと同時に異文化交流について少しでも興味を持つていただくことが出来たらいいなど、学科祭の一回思っています。最後になりましたが私達の様々な要望に応えて頂いた山本信太郎先生をはじめとする先生方、シフォンまた生協の皆様にこの場を借りて感謝の思いを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。